

2019年5月29日

各位

デンカ株式会社

TEFKA（高機能フッ素樹脂フィルム）の建築構造膜用途への展開

デンカ株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：山本 学）は高機能フッ素樹脂フィルム「TEFKA®」を2015年に上市して以来、国内外の建築構造膜用途への展開を進めております。

TEFKA®は当社が持つフッ素系フィルムの製膜加工技術を活かして開発した製品で、フレームにはめ込み展張することで屋根材などに使用されます。

耐候性・難燃性・加工性などの優れた特長に加えて、ガラス並みの高い透明性及び光透過性をもち、太陽光を取り入れ明るく開放的な空間を提供することが可能です。また、軽量のフィルムであるTEFKA®を建築材料として使用することで、通常のガラス屋根と比較し、安全性の向上や支柱部分への加重負荷を低減する効果が期待出来ることから、屋外建築物の屋根材として高い評価をいただき採用実績を増やしてまいりました。

デンカグループは、経営計画「Denka Value-Up」のもと、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた製品・技術の開発に取り組んでおります。TEFKA®をはじめとした高機能フィルムの提供を通じ、安全で快適なまちづくりに貢献してまいります。

※TEFKA®はデンカ株式会社の登録商標です。

【採用事例】



*Hightex Germany: Fabrication and Installation and photo credit: TAOS gGmbH, Du Linh Trinh



*Courtesy of Solvay Specialty Polymers

(左) ピアノイベント用キューブ
(ナミビア) での使用例
ガラス同等の透明性と軽量性を
評価されました。

(右) 天板キャノピーでの使用例
(イタリア)
印刷等による遮熱性、意匠性の
付与が可能です。

以上

【本発表に関するお問い合わせ先】

C S R ・ 広報室 TEL : 03-5290-5511

【製品に関するお問い合わせ先】

生活・環境プロダクツ部門 環境製品部 TEL : 03-5290-5565